



一般社団法人 **日本病理学会**  
The Japanese Society of Pathology

一般社団法人 日本遠隔医療学会  
会員 各位

令和元年 8 月吉日  
一般社団法人 日本病理学会  
理事長 北川 昌伸

### 研究公募について

日本病理学会は、国立研究開発法人日本研究開発機構（AMED）の支援を受けて、国立情報学研究所（NII）と共同して「Japan Pathology AI Diagnostics Project (JP-AID)」をすすめています。これは、病理診断を支援するような病理画像 AI を作成することで病理医の負担を軽減するとともに、地域病理支援システム（遠隔病理診断ネットワーク）を構築することで効率よく病理診断ができる体制を我が国に整備することを目的としています。

このたび、JP-AID では 2 件の研究公募を行い、これらに関する研究を推進しようと考えており、関連学会にご案内を差し上げております。

詳細は JP-AID ホームページ (<http://p-wsi.jp/>) をご覧下さい。

#### 公募内容 1

目的： 常勤病理医が不在の病院を対象に、常勤病理医が勤めている病院との間で遠隔病理診断通信システムを構築し、遠隔病理診断を行う

対象： 常勤病理医が不在で、バーチャルスライドスキャナを保有している病院

条件： JP-AID ホームページを参照のこと

#### 公募内容 2

目的： 日本病理学会では AI 開発に利用できる高性能 GPU を搭載した DGX-1 を保有しており、AI 研究者に活用してもらう

対象： 日本病理学会 会員

利用額： 15 万円/半年

\* 詳細は 8 月中に日本病理学会ホームページ (<http://pathology.or.jp/>) ならびに JP-AID ホームページ (<http://p-wsi.jp/>) に掲載致します。

本件に関するお問い合わせは、下記までご連絡頂きますよう、お願い申し上げます。

日本病理学会事務局 〒113-0034 東京都文京区湯島 1-2-5 聖堂前ビル 7 階

TEL: 03-6206-9070 FAX: 03-6206-9077

E-mail: [jsp-office@pathology.or.jp](mailto:jsp-office@pathology.or.jp)